

ちびっこ探検学校ヨロシ島体験記

自然の恵みを肌で感じながら、団体生活の中での規律や仲間と助け合う大切さ、外国の子ども達との交流から国際感覚を養うことを目的とした『ちびっこ探検学校ヨロシ島』が、今年も鹿児島県与論島で3月27日から4月2日の6泊7日で開催され、本町から17名の小学生が参加しました。

参加した17名の中から4名の子ども達の体験記を紹介いたします。

「宝物の二つ」 鎌野 稜子

体験記

出発の朝、私はいつもより少し早く目が覚めました。初めてヨロシ島や沖縄に行く気持ちからワクワクしていた。飛行機には乗った事があるけど、子供だけで乗るのは初めてだった。それに若佐小学校からは、一人だけだったから、他の友達と一緒に行動する事になる。(いざ出発)緊張というより、

「ヨロシ島の思い出」 新田 一真

体験記

僕は、3月27日から4月2日の間に行った『ちびっこ探検学校ヨロシ島』で、心に一番残ったのは、イカダに乗った事です。最初にイカダに乗った時は、海水がとても冷たく感じました。その後、オイルでイカダを漕いで海の中を覗いて見ると、ヨロシ島の海はとてもキレイで、心の中で『すごくキレイな海だな』と思いながら見ました。

次に心に残ったのは、サヨサラシーサイドパーティーです。パーティーでは汐見荘は『ピラミキ体験』というダンスを踊りました。この踊りを踊って、最初は緊張していたけれど、踊っていたら佐呂間の友達も踊ってくれたので緊張しませんでした。

次に心に残ったのは、ハーレー大会です。ハーレー大会で初めてハーレーに乗って、最初は漕ぐのが難しかったけれど、漕いでいるうちに慣れてきました。漕いでいる時に前から海水が飛んで口の中に入って「しょっぱい」と思いながらゴールしたら、惜しくも2位でした。すごく悔しかったです。

最後に心に残ったのは、皆同じ海岸に集まってバーベキューをした事です。ワクワク感で溢れていた。合計4時間半で沖縄に着いた。でも、まだまだで、バスで移動し、食堂でやっと泊まる荘別に分かれて自己紹介。ちよっとドキドキしながらも、色々な人が来て交流できると思った。

船に移動する頃には、大分慣れてきた。船の中で、また違う紹介の仕方『他己紹介』等をしたりして、その夜は暮らした。

次の朝、起きてヨロシ島へ出発!!イカダ作りの練習、暑い上にご飯を食べ、すぐ船に乗ったりして、少し酔いそうになりながら、お昼頃にようやくヨロシ島に着いた。

「海、エメラルドグリーンだから、よく見ておいでよ!!」って、お母さんが言っていたけど、こんなに早く見れるとは。思わず感動。

荷物を荘に置いてすぐ砂浜に行き、イカダ作り。作り終わると入島式をした。それから荘に戻り、班のルールや班長を決めたりして交流を深めた。

次の日、島内ハイクで私の班だけ、すごく道に迷い、色々な所に行けたのですが、御土産は一回しか買えないのです。その結果、10分ぐらいしかなく、あまり見る事ができませんでした。

次の日、ハーレー船大会があったん

す。そうしたら、班付きのリーダーの人が、『ちびっこ探検学校ヨロシ島を34回行って、33回は雨が降ってできなかったけれど、34回目です。』と書いていて、その言葉を聞いた時は、『ラッキー』と思いました。

ヨロシ島に行って沢山の友達ができ、たし、沢山の思い出や楽しい事があつたので、またヨロシ島に行く機会があれば、行きたいと思っています。

「ヨロシ島の思い出」 橋本 一輝

体験記

僕は、3月28日にフェリーでヨロシ島に行きました。ヨロシ島では、5日間色々な活動をしました。

そのヨロシ島の活動で一番楽しかった事は、島内ハイクです。島内ハイクでは、まず最初にサトウキビを畑に取りに行きました。サトウキビは、長くて意外と重かったので、持ちにくかったです。

次にサトウキビを運びながら歩いていった所は鍾乳洞です。ここでは、鍾乳洞探検をしました。鍾乳洞の中は、当たり前だけど、すごく暗くて前が見えなかったのびびくりしました。北海道の鍾乳洞は、すごく寒いけど、ヨ

ですが、私は訳がありできなかったのが残念でした。

次の日は、イカダに乗る事もでき、夜はバーベキューで、最後は荘別でダンスを踊ってさよならパーティーをしました。

この楽しく過ごした6日間、アメリカの友達とも色々話をしたりして、離れる時、すごく淋しかった。

次の日は、日本の友達とも別れました。強風のため、遅れたりしましたが、思い出の旅になりました。

今回、自分が体験して思った事は、6年生だと卒業式があったり、中学校の準備等でバタバタとしながら行ったので、5年生の時に行ったら良かったなと思いました。親にも負担をかけ、行かせてもらいましたが、人との出会い、交流ができました。また、北海道と違った自然に触れ合う事ができ、私にとって、また一つ宝物ができた気がします。

「ヨロシ島での出来事」 内田 結菜

体験記

私は、6年生になって初めてヨロシ島に行きました。最初は、友達ができ

ロン島の鍾乳洞は、ジメジメしていて蒸し暑かったです。すごく真つ暗でライトが無いと所々の水溜りに落ちてしまいかもしれないので、ライトが手放せませんでした。

鍾乳洞の中は、色々な部屋があつて、一つ一つに名前がありました。「けんの間」や頭上を注意しながら、願い事を考えて歩くと、幸せになるという道がありました。中でも面白かったところは、サンゴの化石がある場所でした。不思議な形のサンゴの化石が岩にくっ付いていました。花のような形や岩ではないが、岩のような形のサンゴの化石がいっぱい張り付いていました。ヨロシ島の思い出の中で一番楽しかったです。

その後は、サトウキビ搾りをする場所まで歩きました。搾る時には、不思議な道具を使いました。棒を回すと中のローラーが回されて、サトウキビが潰れ、中の汁が流れてバケツに入るという仕組みです。棒は重くて回すのがすごく辛かったです。サトウキビの汁は、甘くておいしくなかったけれど、メロンのカキ氷シロップを入れるとスイカのような味になったので、飲みやすくなりました。ヨロシ島では、どの活動もとても楽しかったです。